



MylogStar Cloud How to Use

■ MylogStar Cloudのご利用方法

目次

1. はじめにお読みください	3
1.1 このドキュメントについて	3
2. MylogStar Cloudについて	6
2.1 MylogStar Cloudの概要	6
2.2 インストールの要件	7
2.2.1 MylogStar Agent for Virtual	7
2.2.2 MylogStar Console	8
2.3 インストールに必要な所要時間	9
2.4 アップデート後の確認事項	9
2.4.1 保存した検索条件の検索結果	9
3. MylogStar Consoleのログイン	10
3.1 MylogStar Consoleへのアクセス	10
3.2 2要素認証の有効化	10
3.2.1 2要素認証有効化	10
4. MylogStar Agent for Virtualのインストール	11
4.1 MylogStar Agent for Virtualのインストール	11
5. MylogStar Agent for Virtualのアンインストール	12
5.1 MylogStar Agent for Virtualのアンインストール	12
6. MylogStar Agent for Virtualのアップデート	13
6.1 MylogStar Agent for Virtualのアップデート	13
6.2 レジストリ設定	13
7. その他	14
7.1 マニュアルについて	14
7.1.1 MylogStar Cloud	14
7.1.2 MylogStar Agent for Virtual	14
7.1.3 MylogStar製品共通	14
7.2 ライセンス数の確認	15

1. はじめにお読みください

MylogStar Cloud 製品を使用する前に、以下の項目について内容をご確認ください。

1.1 このドキュメントについて

本書の目的

このドキュメントは、「MylogStar Cloudのご利用方法」です。MylogStar Cloudのご利用方法を説明しています。

表記について

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2012 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Essentialsは、「Windows Server 2012」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 8.1、Microsoft(R) Windows(R) 8.1 Proおよび、Microsoft (R) Windows(R) 8.1 Enterpriseは、「Windows 8.1」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Essentialsは、「Windows Server 2012 R2」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 10 Home、Microsoft(R) Windows(R) 10 Proおよび、Microsoft(R) Windows(R) 10 Enterpriseは、「Windows 10」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 11 Home、Microsoft(R) Windows(R) 11 Proおよび、Microsoft(R) Windows(R) 11 Enterpriseは、「Windows 11」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2016 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentialsは、「Windows Server 2016」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2019 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Essentialsは、「Windows Server 2019」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2022 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Essentialsは、「Windows Server 2022」と表記しています。

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2025 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2025 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2025 Essentialsは、「Windows Server 2025」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2014およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2014 Expressは、「SQL Server 2014」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2019およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2019 Expressは、「SQL Server 2019」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2022およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2022 Expressは、「SQL Server 2022」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) Management Studioは、「SQL Server Management Studio」と表記しています。
- Microsoft(R) Internet Information Servicesは「IIS」と表記しています。
- Microsoft(R) .NET Frameworkは「.NET Framework」と表記しています。
- Microsoft(R) Officeは「Office」と表記しています。
- Microsoft(R) Excel(R)は「Excel」と表記しています。
- Microsoft(R) PowerPoint(R)は「PowerPoint」と表記しています。
- Microsoft(R) Wordは「Word」と表記しています。

商標について

- Microsoft、Windows、SQL Server、Internet Explorer、Microsoft Edge、Internet Information Services、Active Directory、Office、Microsoft 365、Excel、PowerPoint、Wordは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、Celeron、Pentium、Xeonは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- MongoDBは、MongoDB Inc.の登録商標です。
- Google、Google Chrome、Google Authenticatorは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他の製品名、会社名は、一般的に各社の商標または登録商標です。

著作権などについて

本マニュアルは、使用許諾契約に基づいて提供されるものであり、当該使用許諾契約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能です。

当該使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、株式会社ラネクシーからの事前の書面による許可なしに、機械的、電子的、録音、その他いかなる手段や形式であれ、複製、配布(頒布、送信を含む)または表示(上映を含む)を行うことはできません。

本マニュアルの内容は、著作権法により保護されております。

本マニュアルの記載内容はお客様の手引きを目的とし、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として提供されるものです。

したがって、株式会社ラネクシーは当該情報が明示的であるか黙示的であるかを問わず、当該情報の責任ないし保証をここに明示的に排除します。

2025年12月

2. MylogStar Cloudについて

2.1 MylogStar Cloudの概要

「MylogStar Cloud」は、Windows OSにエージェントプログラムをインストールすることによってOS上で操作された内容を操作ログとして取得し、クラウド上のデータベースに送信/保存する製品です。必要に応じて、保存された操作ログの検索を行うことや、あらかじめ設定した条件に合致する操作ログをアラートとして検出するなど、組織内の情報セキュリティを管理することを目的としています。

Windows OSにインストールするエージェントプログラム「MylogStar Agent for Virtual」、取得した操作ログを受信しデータベースへ保存するプログラム「MylogStar Server」、データベースに保存された操作ログの閲覧や検索を行うプログラム「MylogStar Console」、この3つのプログラムがMylogStarの基本的な構成となります。

MylogStar Cloudでは、「MylogStar Server」「MylogStar Console」はクラウド上にあらかじめセットアップされています。そのため、専用の管理用サーバーなどをご用意いただく必要はありません。シンクライアント環境に「MylogStar Agent for Virtual」を仮想環境導入手順書に沿ってインストールしていただくだけで運用を始めることが可能です。操作ログの閲覧・検索はWebブラウザから行うことができます。

2.2 インストールの要件

MylogStar製品の導入に必要な環境は次のとおりです。

2.2.1 MylogStar Agent for Virtual

- シンクライアント環境へのMylogStar Agent for Virtualの導入に関しては、環境に合わせた仮想化導入手順書・制限事項リストをご用意しております。導入前に必ずご確認ください。仮想化導入手順書・制限事項リストは「[マニュアルについて](#)」の「MylogStar Agent for Virtual」をご参照ください。
- 下記インストール要件はMylogStar Agent for Virtualにてサポート対象としている仮想環境の一覧となります。弊社における検証済み環境などの詳細に関しましては、大変お手数ですが弊社営業までお問い合わせください。

項目	仕様
対応仮想環境	次のシンクライアント製品の内、監視対象とする製品のシステム要件を満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Azure Virtual Desktop(シングルセッション/マルチセッション)
その他環境	インストールドライブのファイルシステムは「NTFS」である。

2.2.2 MylogStar Console

以下はMylogStar Console を操作する環境の動作要件となります。MylogStar Console には Webブラウザからアクセスしますので、プログラムをインストールしていただく必要はありません。

項目	仕様
対応 OS	Windows 10 ¹ Enterprise Windows 11 ² Home Windows 11 Pro Windows 11 Enterprise Windows Server 2016 Standard Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2019 Standard Windows Server 2019 Datacenter Windows Server 2022 Standard Windows Server 2022 Datacenter Windows Server 2025 Standard Windows Server 2025 Datacenter
対応 Webブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome
CPU	1.0GHz以上
メモリ	利用するWebブラウザに準ずる
ハードディスク	利用するWebブラウザに準ずる
その他	解像度 1024 x 768 以上のディスプレイが必要。1280 x 800 以上を推奨。

¹当バージョンでは、Windows 10 のバージョン Enterprise 2016 LTSC、Enterprise 2019 LTSC、Enterprise 2021 LTSCに対応しております。最新の対応状況につきましては、MylogStar製品FAQサイトをご参照ください。

²当バージョンでは、Windows 11 のバージョン 23H2(Enterprise のみ)、24H2、Enterprise LTSC 2024に対応しております。最新の対応状況につきましては、MylogStar製品FAQサイトをご参照ください。

2.3 インストールに必要な所要時間

MylogStar Agent for Virtualのインストール所要時間は、おおむね5～10分程度となります。

ただし、インストール対象となるコンピューターの処理能力や設定内容の差異によって、所要時間が増減する場合があります。

その他、インストール後に必要な設定や仮想環境に応じた設定が必要となります。仮想環境導入手順書をお読みいただき、作業時間をお見積りください。

2.4 アップデート後の確認事項

2.4.1 保存した検索条件の検索結果

MylogStar Cloud MS1.6 以前からMylogStar Cloud MS1.7 以降へアップデートしデータを引き継いだ場合、保存していた検索条件での検索結果が変わることがあります。

スペースを含む文字列の検索の仕様のため、詳細検索の文字入力でダブルクォーテーション(")を含む検索条件の場合は検索条件の再設定が必要となります。

詳細検索については、「操作マニュアル」の「ログ表示」の章にあります「ログ表示共通操作」-「詳細検索」をご参照ください。

3. MylogStar Consoleのログイン

3.1 MylogStar Consoleへのアクセス

Webブラウザを起動して「アドレス」にMylogStar ConsoleのURLを入力します。

※URLは、MylogStar Cloud サブスクリプションサービス開通時の通知メールに記載されている、「MylogStar Console URL」をご参照ください。

「ログイン」ページが表示されるので、すべての項目を入力してログインします。

項目名	説明
ログイン名	ログインするユーザーの名称を入力します。 ※MylogStar Cloud サブスクリプションサービス開通時の通知メールに記載されている「アカウント名」を使用してください。
パスワード	ログインするユーザーのパスワードを入力します。 ※MylogStar Cloud サブスクリプションサービス開通時の通知メールに記載されている「初期パスワード」を使用してください。尚、初回ログイン後は任意のパスワードへの変更をお願いいたします。
[ログイン]ボタン	指定した内容でログインします。

注意:

- 連続して3回パスワードを間違えた場合、当該アカウントはロックされログインできなくなります（ロックは180分後に解除されます）。入力誤りにご注意ください。

3.2 2要素認証の有効化

ノート:

2要素認証の有効化は必須ではありませんが、セキュリティを強化するために有効化することを推奨いたします。

3.2.1 2要素認証有効化

2要素認証とは、複数の要素（記憶情報、所持情報、生体情報）のうち2つを組み合わせ本人認証を行う方法です。

本システムでは、パスワード（記憶情報）と認証アプリ（所持情報）の2つを使用して本人認証を行います。

2要素認証を有効化する方法は、操作マニュアルの「2要素認証の設定」をご参照ください。

4. MylogStar Agent for Virtualのインストール

4.1 MylogStar Agent for Virtualのインストール

インストール手順については「仮想環境導入手順書」をご参照ください。

「[マニュアルについて](#)」の「MylogStar Agent for Virtual」で製品に応じた仮想環境導入手順書を入手してください。

5. MylogStar Agent for Virtualのアンインストール

5.1 MylogStar Agent for Virtualのアンインストール

アンインストール手順については「仮想環境導入手順書」をご参照ください。

「[マニュアルについて](#)」の「MylogStar Agent for Virtual」で製品に応じた仮想環境導入手順書を入手してください。

6. MylogStar Agent for Virtualのアップデート

MylogStar Cloud のアップデート完了後、MylogStar Agent for Virtualのアップデートを行ってください。

6.1 MylogStar Agent for Virtualのアップデート

アップデート手順については「仮想環境導入手順書」をご参照ください。

「[マニュアルについて](#)」の「MylogStar Agent for Virtual」で製品に応じた仮想環境導入手順書入手してください。

6.2 レジストリ設定

担当営業、またはサポートセンターからの指示によって、手動でMylogStar Agent for Virtualのレジストリを変更した場合、その設定は初期化されることがありますので、アップデート後に再設定してください。

7. その他

7.1 マニュアルについて

MylogStar Cloud の製品 マニュアルはWebブラウザより参照可能です。

Webブラウザから MylogStar Console にログインし、画面右上の「？」アイコンをクリックすると各製品のマニュアルへのリンクが表示されます。

7.1.1 MylogStar Cloud

マニュアル名	マニュアルの概要
操作マニュアル	管理コンソールにおける、ログの閲覧や各種設定などの操作方法をご確認いただけます。
システム管理者マニュアル	システム管理者向けのマニュアルとなります。 MylogStarの運用を支援するツール類の利用方法などをご確認いただけます。

7.1.2 MylogStar Agent for Virtual

マニュアル名	マニュアルの概要
仮想環境導入手順書	仮想環境にMylogStar Agent for Virtualを導入する手順を記載した手順書になります。 環境に合わせた仮想環境導入手順書を導入前に必ずご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> • Azure Virtual Desktop
仮想環境制限事項リスト	MylogStar Agent for Virtual使用上の制限事項(特定条件下で、仕様を満たせない場合や動作保証対象外となる場合)についてご確認ください。

7.1.3 MylogStar製品共通

マニュアル名	マニュアルの概要
制限事項リスト	MylogStar使用上の制限事項(特定条件下で、仕様を満たせない場合や動作保証対象外となる場合)についてご確認ください。
アラートジョブガイド	MylogStar Cloudご契約時に既定で作成されるアラートジョブについて説明いたします。

7.2 ライセンス数の確認

Webブラウザを起動し、MylogStar Console へアクセスしてログインします。

ログイン後、ツールバーの「システム管理」をクリックして「ライセンス管理」ページを表示すると、ライセンスの情報を確認することが可能です。

項目名	説明
製品利用状況	
製品名	MylogStarを構成する各製品の名称です。
ライセンス対象	ライセンスの適用対象が「コンピューター」「ユーザー」のどちらであるかを示します。
保有ライセンス数	お客様が購入したライセンス数です。
使用済みライセンス数	使用されたライセンス数です。
(最下部)	
[使用済みライセンスのクリア] ボタン	使用済みライセンスをすべてクリアします。 クリア後は、使用済みライセンス数がすべて「0」にリセットされます。ライセンス対象が「コンピューター」の製品はコンピューターの再起動後、「ユーザー」の製品は再ログイン後にライセンス数が再度カウントされます。

MylogStar Cloud How to Use

2025年12月1日 第6版発行(非売品)

著作 :RUNEXYCORP.

発行所 :株式会社ラネクシー

©2025 RUNEXYCORP.

Printed in Japan. 落丁、乱丁はお取替えいたします。

